

FREE CHECKLIST / ゲンバ採用

応募が来る 建設業の採用ページ 30項目チェックリスト

求人を出しても人が来ないとき、
まず見直したい「採用ページ」の点検表です。
15分で、御社の伸びしろが分かります。

東北の建設・設備業向け



求職者は、応募の前に必ず会社を調べています。

ハローワーク、求人サイト、学校、知人の紹介。どの入口から来た人も、応募する前に社名で検索し、ホームページで「どんな人と、どんな現場で働くのか」を確かめます。採用ページは、求人票の続きを読んでもらう場所です。

90.3%

応募前に企業の採用サイトを見ている

80.0%

採用サイトが「応募の決め手になる」と回答

出典：株式会社カケハシスカイ「採用サイトに関する意識調査」（2024年5月、転職経験者515名）

このチェックリストの使い方

STEP 1

スマホで自社の採用ページを開く。社名で検索するところから始めると、求職者と同じ目線になります。

STEP 2

30項目を上から順に確認し、できている項目に✓をつける。迷ったら「できていない」側に。

STEP 3

✓の数を数えて、最後のページで点数を確認。✓がつかなかった項目が、御社の伸びしろです。

5つの視点で点検します

A 見つけてもらう / B 第一印象 / C 仕事の中身 / D 働く環境と待遇 / E 応募のしやすさ

求職者がページを開いてから応募するまでの順番に並べています。Aで見つからなければBは見てもらえず、Eで迷えば、それまでの努力が応募につながりません。

A 見つけてもらう

検索と入口

- 01 ☐ **社名で検索すると、自社のホームページが一番上に出る**
出てこない・古いページが出る場合は、求職者がそこで離れてしまいます。
- 02 ☐ **「社名＋採用」「社名＋求人」で採用ページが出る**
採用情報が会社案内の奥に埋もれていないかを確認します。
- 03 ☐ **Googleマップの写真・営業情報が最新になっている**
地図から会社を見る求職者も多く、写真の古さはそのまま印象になります。
- 04 ☐ **ハローワーク・求人サイトの原稿に採用ページのURLを載せている**
求人票で興味を持った人を、詳しい情報へ案内できます。
- 05 ☐ **スマホで見やすく、ページの表示に3秒以上かからない**
求職者の多くはスマホで見えています。重いページは読まれる前に閉じられます。
- 06 ☐ **採用ページのタイトルに「職種名・地域名・採用」が入っている**
例：「土木作業員・施工管理の求人 | 岩手県大船渡市の〇〇建設」

B 第一印象

開いて5秒で伝わるか

- 07 ☐ **トップの写真が、自社の現場と社員の写真になっている**
素材写真は見抜かれます。少し不格好でも本物の写真のほうが信頼されます。
- 08 ☐ **お知らせなどの更新日が、半年以内になっている**
更新が止まっていると「今もこの会社は大丈夫？」と不安を与えます。
- 09 ☐ **「どんな会社か」が一文で分かる言葉がある**
例：「三陸の道路と橋を、地元の手で守る会社です」
- 10 ☐ **採用ページへの入口が、トップページから1回のタップで見つかる**
メニューの奥にあると、探す前に離れてしまいます。
- 11 ☐ **社長・代表者の顔写真とメッセージがある**
「誰の会社で働くのか」は、中小企業ほど大きな判断材料です。
- 12 ☐ **所在地・事業内容・建設業許可などの会社情報がそろっている**
家族が会社を調べたときの安心材料にもなります。

C 仕事の中身

働く姿が想像できるか

- 13 ☐ 1日の流れ（朝礼から片付け・終業時間まで）が書いてある
求職者がいちばん想像できないのは「自分の1日」です。
- 14 ☐ 入社2～3年目の先輩の声が載っている
入る前の不安と、実際どうだったか。求職者に一番近い立場の言葉が響きます。
- 15 ☐ 誰が、どう教えるのか（未経験者の育て方）が分かる
「どんな人に教わるのか」は、未経験者が強く気にする点です。
- 16 ☐ 手がけた現場や施工実績を、写真で見られる
完成写真だけでなく、つくっている途中の写真があると仕事の魅力が伝わります。
- 17 ☐ 安全への取り組み（KY活動・保護具の徹底など）が分かる
「危なくないか」という不安に、言葉より写真で答えます。
- 18 ☐ 仕事の大変なところも、正直に書いてある
「夏は暑い。それでも続けている理由」が、入社後のギャップと早期離職を防ぎます。

D 働く環境と待遇

安心して決められるか

- 19 ☐ 給与の目安（月給・年収例）が具体的に書いてある
「経験により優遇」だけでなく、入社1年目・5年目などの例があると判断しやすくなります。
- 20 ☐ 年間休日・繁忙期の働き方が分かる
天候や工期による休みの変わり方も、先に伝えておく信頼されます。
- 21 ☐ 資格取得支援の中身（費用負担・取れる資格）が書いてある
「支援あり」より「玉掛け・小型移動式クレーンの費用を全額会社負担」のほうが伝わります。
- 22 ☐ キャリアの道すじ（何年目で何ができるようになるか）がある
将来の姿が見えると、若い人が応募を決めやすくなります。
- 23 ☐ 社用車・寮・現場手当など、現場仕事ならではの条件が書いてある
通勤や遠方現場への不安を先回りして解消できます。
- 24 ☐ 社員の年齢層や雰囲気が、写真や数字で分かる
同世代がいるかどうかは、若手の応募を大きく左右します。

- 25 ☐ スマホから1分以内に応募・問い合わせができる
応募ボタンは、ページの途中と最後の両方に置きます。
- 26 ☐ 電話・LINEなど、フォーム以外の連絡手段がある
現場で働く人ほど、フォームより電話やLINEのほうが気軽です。
- 27 ☐ 「まずは見学だけ」など、応募より軽い選択肢がある
いきなり応募はハードルが高い人も、見学なら一歩を踏み出せます。
- 28 ☐ 応募フォームの入力項目が、5項目以内になっている
名前・連絡先・希望職種程度で十分。詳しいことは面接で聞けます。
- 29 ☐ 応募後の流れ（連絡が来るまでの日数・面接の回数）が書いてある
先が見えると、応募ボタンを押す不安が小さくなります。
- 30 ☐ 採用ページの閲覧数と応募数を、毎月確認している
数字を見ていれば、どこを直せばいいかが分かります。

✓の数で、いまの状態を確認しましょう

御社の✓の数

／ 30

25～30個

求職者に伝わる採用ページです。閲覧数と応募数を見ながら、写真や先輩の声を少しずつ増やしていきましょう。

18～24個

土台はできています。✓がつかなかった項目を3つ選んで直すだけで、応募の入り方が変わります。

0～17個

伸びしろが大きい状態です。求人広告を増やす前に、採用ページを整えるのがいちばんの近道です。

どこから直す？

迷ったら、A（見つけてもらう）→ E（応募のしやすさ）→ C（仕事の中身）の順がおすすめです。見つけてもらえて、すぐ連絡できる状態をつくってから、中身を充実させていくと効果が出やすくなります。

✓がつかなかった項目、 どう直せばいいか迷ったら。

写真を撮る時間がない、文章が書けない、何から手をつければいいのか分からない。そんなときは、ゲンバ採用の無料診断をご利用ください。

御社の採用ページを、無料で診断します。

- 社名で検索したときの見え方
- いまの採用ページで伝わっていないこと
- 同じ地域の同業他社との比べ方
- すぐできる改善案を3つ

A4数枚のレポートにまとめてお送りします。診断のあとに営業電話をかけることはありません。

Webから

actarke.com/genba-saiyo/
「無料で診断する」ボタン
から

メールで

info@actarke.com
件名に「採用ページ診断希
望」

公式LINEで

友だち追加して
「診断希望」と送るだけ

ゲンバ採用とは

東北の建設・設備業に特化した採用ホームページ制作サービスです。現場の取材・撮影・ドローン空撮から、先輩インタビュー、スマホで応募しやすい導線づくり、公開後の振り返りまでを一社で行います。岩手県内は出張費無料、東北5県にも伺います。



ゲンバ採用 / ACTARKE合同会社

〒022-0002 岩手県大船渡市大船渡町字明神前152番地34

info@actarke.com | <https://actarke.com/genba-saiyo/>